



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,418	0.5	262	26.7	311	40.8	37	△76.2
2024年3月期第1四半期	6,384	5.3	207	116.8	221	129.8	157	213.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 476百万円 (△30.5%) 2024年3月期第1四半期 686百万円 (57.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	11.43	—
2024年3月期第1四半期	48.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	33,630	17,124	40.5	4,167.61
2024年3月期	35,249	16,843	38.4	4,134.60

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,627百万円 2024年3月期 13,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,000	3.3	480	96.4	460	139.6	250	35.1	76.46
通期	26,230	1.0	840	6.8	780	9.1	480	△10.8	146.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,362,163株	2024年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	92,311株	2024年3月期	92,287株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	3,269,858株	2024年3月期1Q	3,269,876株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、経済活動の緩やかな回復を見せたものの、ウクライナや中東情勢の悪化による原材料や原油価格の高騰、円安の継続、物価高騰に伴う個人消費の落ち込みなどにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、第7次3カ年計画の最終年度にあたり、『C&Eへのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定し、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

なお、2024年1月9日付で全株式を取得し子会社とした株式会社小口合金鋳造所につきましては、本年3月31日をみなし取得日としているため、当第1四半期連結会計期間の期首より同社の業績を含めております。

また、2024年4月16日に発生しました「兵庫県南西部を中心とする雹」により、工場建屋等の毀損による物的被害が発生しており、その災害による損失見込み額及び損失確定額を特別損失として計上しております。なお、当社は係る損害に備えた保険を付しておりますが、保険金の受取額が確定していないため、当第1四半期連結累計期間では計上しておらず、金額が確定した段階で特別利益として計上いたします。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格は正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 64億1千8百万円(前年同期比 0.5%増)、営業利益 2億6千2百万円(前年同期比 26.7%増)、経常利益 3億1千1百万円(前年同期比 40.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 3千7百万円(前年同期比 76.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、鍛鋼用鋳型の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび電炉メーカー向け案件や輸出案件が好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、新型開発計画に動きがみられ、受注の確保に努めた結果、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、主要顧客先の需要が伸び悩んだものの、価格是正による収益確保に努め、売上高は、前年同期並みで推移しました。小型鋳物は、土木用鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスパーは、建設機械向けをはじめとした主要顧客先の需要が伸び悩んだものの、価格是正による収益確保に努め、売上高は、前年同期並みで推移しました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の悪化や競合他社との競争激化が続く中、輸出案件の受注等が寄与し、売上高は、前年同期を上回りました。昨年度より新たに連結子会社となった株式会社小口合金鋳造所は、半導体製造装置向けの需要が好調で、売上高は、順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、58億9千4百万円(前年同期比 11.4%増)、セグメント利益 3億3千1百万円(前年同期比 93.6%増)となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、前年同期にあった大型案件の工事が、前連結会計年度までに概ね完了したため、売上高は、前年同期を下回りました。送風機は、主要顧客先の需要が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体向けが頭打ちとなり、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、3億3千1百万円(前年同期比 63.5%減)、セグメント損失 5千8百万円(前年同期 セグメント利益5千1百万円)となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、自動車向け摩擦材の需要が伸び悩みましたが、主要原料の銅建値が高値基調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、1億8千4百万円(前年同期比 3.6%増)、セグメント利益 4百万円(前年同期比 101.0%増)となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、6百万円(前年同期比 72.1%増)、セグメント利益 0百万円(前年同期 セグメント損失△0百万円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、198億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億3千3百万円減少いたしました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が17億2千1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、137億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円増加いたしました。これは、主として投資有価証券が1億7千3百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、336億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ16億1千8百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、124億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億5千万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が15億8千9百万円減少したことなどによります。

固定負債は、40億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が1億3千9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、165億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億9千9百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、171億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千万円増加いたしました。これは、主として非支配株主持分が1億7千2百万円、為替換算調整勘定が1億5千6百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.4%から40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、国内鋳物事業において、コスト改善のための諸施策の進捗と製品の販売価格是正による収益の増加が見込まれることと、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司の業績が、中国国内において引き続き事業環境が厳しい中、輸出案件の受注活動にも注力した結果、売上収益が予想に比し、順調に推移したことにより、売上高、利益とも前回発表の予想を上回る見通しであるため、上方修正しております。

2025年3月期通期業績予想につきましては、今後の需要動向や原材料価格など、現時点において第3四半期以降の事業環境が不透明であるため、第2四半期累計期間の業績予想の修正分を織り込んだものとしております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,643	2,440
受取手形、売掛金及び契約資産	12,168	10,446
電子記録債権	2,574	2,733
商品及び製品	1,445	1,410
仕掛品	1,263	1,283
原材料及び貯蔵品	1,435	1,431
その他	93	142
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	21,622	19,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,927	2,942
機械装置及び運搬具（純額）	3,859	3,749
土地	1,256	1,256
その他（純額）	1,436	1,432
有形固定資産合計	9,479	9,381
無形固定資産		
のれん	143	137
その他	302	313
無形固定資産合計	446	451
投資その他の資産		
投資有価証券	3,565	3,739
退職給付に係る資産	—	34
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	5	7
その他	127	124
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,701	3,907
固定資産合計	13,626	13,741
資産合計	35,249	33,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,930	3,132
短期借入金	8,752	7,163
未払法人税等	159	22
賞与引当金	307	101
役員賞与引当金	13	—
災害損失引当金	—	204
その他	2,052	1,842
流動負債合計	14,216	12,466
固定負債		
長期借入金	2,970	2,830
繰延税金負債	891	944
退職給付に係る負債	54	—
その他	273	265
固定負債合計	4,189	4,040
負債合計	18,405	16,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	8,166	8,007
自己株式	△98	△99
株主資本合計	10,672	10,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,790	1,914
繰延ヘッジ損益	△4	—
為替換算調整勘定	770	926
退職給付に係る調整累計額	290	273
その他の包括利益累計額合計	2,847	3,113
非支配株主持分	3,323	3,496
純資産合計	16,843	17,124
負債純資産合計	35,249	33,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,384	6,418
売上原価	5,492	5,385
売上総利益	891	1,032
販売費及び一般管理費	683	770
営業利益	207	262
営業外収益		
受取利息及び配当金	50	67
その他	18	34
営業外収益合計	68	101
営業外費用		
支払利息	29	32
その他	25	20
営業外費用合計	55	53
経常利益	221	311
特別損失		
災害損失引当金繰入額	—	※1 204
災害による損失	—	※1 32
特別損失合計	—	237
税金等調整前四半期純利益	221	74
法人税、住民税及び事業税	2	7
法人税等調整額	79	6
法人税等合計	82	14
四半期純利益	139	59
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	157	37

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	139	59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211	123
繰延ヘッジ損益	△7	4
為替換算調整勘定	137	306
退職給付に係る調整額	205	△17
その他の包括利益合計	546	416
四半期包括利益	686	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	304
非支配株主に係る四半期包括利益	49	172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に依りて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 災害損失引当金繰入額及び災害による損失

2024年4月16日に発生しました「兵庫県南西部を中心とする雹」により、工場建屋等の毀損による物的被害が発生しました。その災害により今後発生すると見込まれる損失額を「災害損失引当金繰入額」、及び損失確定額を「災害による損失」として計上しております。なお、当社は係る損害に備えた保険を付しておりますが、保険金の受取額が確定していないため計上しておりません。受取保険金につきましては、金額が確定した段階で計上いたします。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	359百万円	353百万円
のれんの償却額	一百万円	5百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,259	—	—	5,259	—	5,259	—	5,259
環境エンジニアリング・環境	—	685	—	685	—	685	—	685
環境エンジニアリング・機械	—	201	—	201	—	201	—	201
機能材料	—	—	178	178	—	178	—	178
ソーラー	—	22	—	22	—	22	—	22
その他	32	—	—	32	4	36	—	36
顧客との契約から生じる収益	5,292	909	178	6,380	4	6,384	—	6,384
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,292	909	178	6,380	4	6,384	—	6,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,292	909	178	6,380	4	6,384	△0	6,384
セグメント利益又は損失(△)	171	51	2	225	△0	224	△2	221

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△49百万円、営業外収益68百万円、営業外費用が△22百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,862	—	—	5,862	—	5,862	—	5,862
環境エンジニアリング・環境	—	75	—	75	—	75	—	75
環境エンジニアリング・機械	—	238	—	238	—	238	—	238
機能材料	—	—	184	184	—	184	—	184
ソーラー	—	18	—	18	—	18	—	18
その他	32	—	—	32	6	39	—	39
顧客との契約から生じる収益	5,894	331	184	6,411	6	6,418	—	6,418
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,894	331	184	6,411	6	6,418	—	6,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,894	331	184	6,411	6	6,418	△0	6,418
セグメント利益又は損失 (△)	331	△58	4	278	0	278	33	311

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△59百万円、営業外収益101百万円、営業外費用が△8百万円含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。